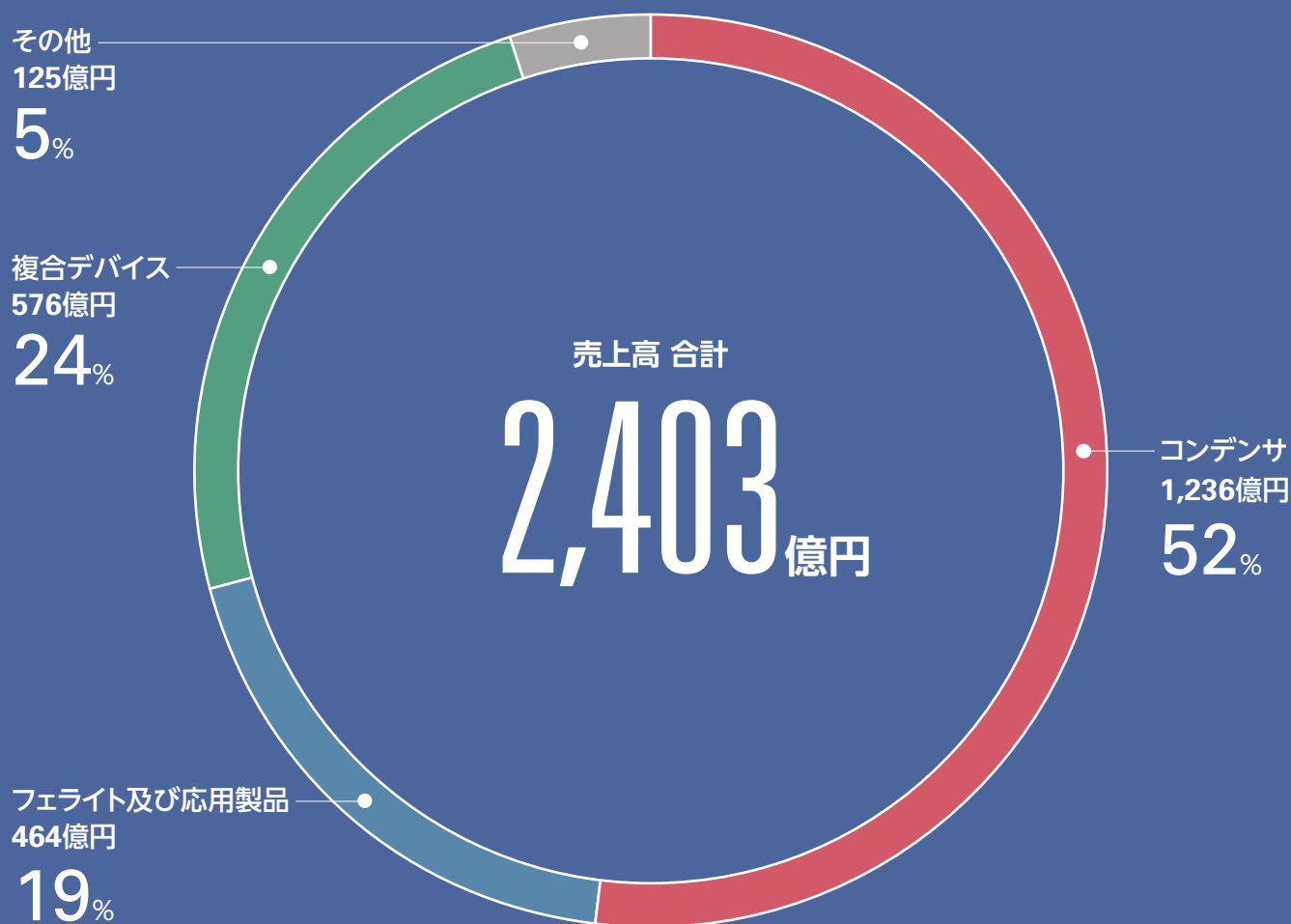


営業概況 At a Glance

商品別売上構成比
2016年3月期



太陽誘電グループは、コンデンサ、フェライト及び応用製品、複合デバイス等の電子部品を製造販売しています。

スマートフォンなどの通信機器では、機器の小型・薄型化、高機能・高性能化に伴い、小型・薄型で特性の良い最先端の電子部品が数多く求められています。また、エレクトロニクス化が進む自動車や産業機器、ヘルスケア、環境・エネルギー市場においても電子部品の需要が拡大し、今まで以上に高い品質、高い信頼性が求められています。

このような市場に対して、太陽誘電グループは、機器の小型・

薄型化、高機能・高性能化に寄与する競争優位性の高いスーパーハイエンド商品の開発に注力しています。自動車や産業機器、ヘルスケア、環境・エネルギー市場を注力すべき市場と位置付け、高信頼性商品の販売推進、システムソリューション提案の強化、商流の拡大と多角化に努めています。さらに、旺盛な需要に応えるため、国内外の生産能力を増強して販売拡大につなげると同時に、高効率生産に努め、海外生産拠点の最大活用を図ることで、コスト低減や為替変動影響を受けにくい体制の構築に努めています。

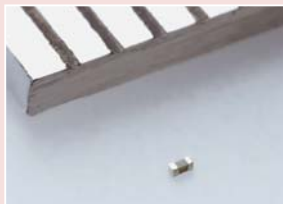
営業概況／コンデンサ

誘電体の材料技術、薄膜・大容量化技術および超小型品生産技術等を高度化し、継続して最先端の積層セラミックコンデンサを開発することに取り組んでいます。特に、超小型、超低背(薄型)、大容量、高信頼性の積層セラミックコンデンサの開発に注力しています。

2016年3月期の業績は、民生機器向け、情報機器向けの売上が前期と比べ減少したものの、通信機器向け、自動車・産業機器向けの売上が前期と比べて増加したことにより、売上高は8.1%増の1,236億75百万円となりました。

主な商品

積層セラミックコンデンサ



超小型積層セラミックコンデンサ
0201サイズ(0.25mm×0.125mm)

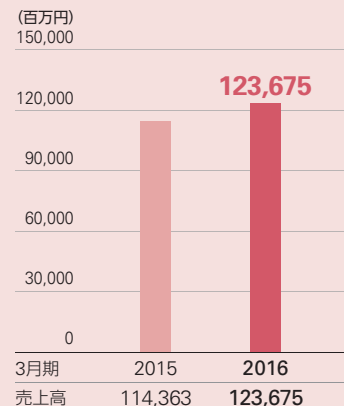


超低背積層セラミックコンデンサ
1005サイズ(1.0mm×0.5mm)
薄さ0.11mm



小型大容量積層セラミックコンデンサ
4532サイズ(4.5mm×3.2mm)
470μF

売上高の推移



注: 2016年3月期より製品区分を変更したため、2期分のみ掲載しています。2015年3月期の数値についても見直し後の区分により比較しています。

営業概況／フェライト及び応用製品

小型、薄型、大電流対応のインダクタ、大型、高信頼性のインダクタの開発に取り組んでいます。材料開発、巻線・積層プロセス技術を高度化させることで、商品ラインアップを拡充させています。

2016年3月期の業績は、民生機器向け、情報機器向けの売上が前期と比べ減少したものの、通信機器向け、自動車・産業機器向けの売上が前期と比べて増加したことにより、売上高は10.8%増の464億63百万円となりました。

主な商品

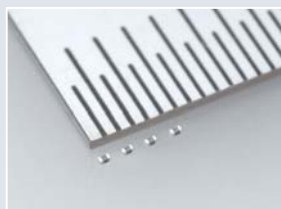
メタル系パワーインダクタ[MCOIL™(エムコイル)]、巻線インダクタ、積層チップインダクタなどの各種インダクタ商品



メタル系パワーインダクタ
[MCOIL™(エムコイル)]

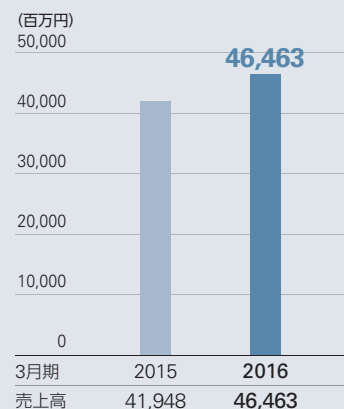


高周波積層High-Qチップ
インダクタ



超小型積層チップインダクタ

売上高の推移



注: 2016年3月期より製品区分を変更したため、2期分のみ掲載しています。2015年3月期の数値についても見直し後の区分により比較しています。

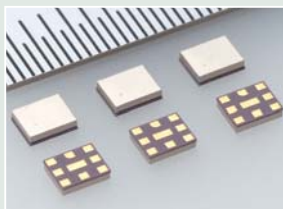
営業概況 / 複合デバイス

モバイル通信デバイス (FBAR/SAW) の技術およびLTCC技術をコアとした商品の開発と、注力市場に向けたソリューション型の次世代商品の開発に注力しています。

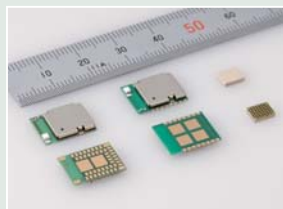
2016年3月期の業績は、電源モジュールの売上が前期と比べて減少したものの、モバイル通信デバイス (FBAR/SAW)、高周波モジュールの売上が前期と比べて増加したことにより、売上高は9.3%増の576億96百万円となりました。

主な商品

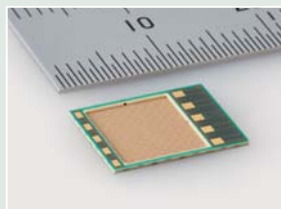
モバイル通信デバイス (FBAR/SAW)、電源モジュール、高周波モジュール、部品内蔵配線板「EOMIN™ (イオミン)」



モバイル通信デバイス (FBAR/SAW)

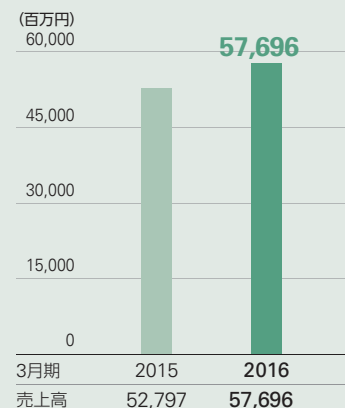


高周波モジュール



部品内蔵配線板「EOMIN™ (イオミン)」

売上高の推移



注: 2016年3月期より製品区分を変更したため、2期分のみ掲載しています。2015年3月期の数値についても見直し後の区分により比較しています。

営業概況 / その他

自動車電装および高信頼性市場へ向けて、近い将来に需要拡大を予想するエネルギーデバイスの商品開発に注力しています。

2016年3月期の業績は、市場が縮小していた記録製品事業から撤退したため、売上高は前期比30.2%減の125億51百万円となりました。

主な商品

エネルギーデバイス

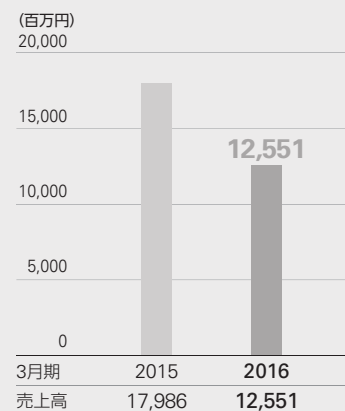


シリンダ型リチウムイオンキャパシタ



シリンダ型ポリアセチレンキャパシタ

売上高の推移



注: 2016年3月期より製品区分を変更したため、2期分のみ掲載しています。2015年3月期の数値についても見直し後の区分により比較しています。